



議会たより

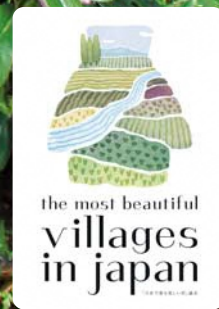
No.123
令和元年5月30日

松崎

「長九郎のシャクナゲ」

《主な内容》

新議員が決まりました.....	2
第1回定例会(平成31年度当初予算).....	4
町長不信任決議.....	6
町政を問う 一般質問に6議員.....	8



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

新議員が決まりました

議会解散後、4月21日に執行された町議会議員選挙で、新たに8名の議員が選出されました。

4月26日には初の議会（平成31年第3回臨時会）が開催され、議長・副議長選挙のほか、常任委員会などの議会の構成が決まり、松崎町の最高意思決定機関としての新しい体制が整いました。なお、正副議長の選挙結果は次のとおりです。

- ・議長選挙 藤井 要 7票 土屋清武 1票
- ・副議長選挙 渡辺文彦 7票 鈴木茂孝 1票



副議長
渡辺文彦



議長
藤井 要

議長就任あいさつ

今回は町を二分するよ
うな選挙戦となり、新人
3名、元職1名が当選し
議員の若返りも進みまし
た。一方で先輩議員が落
選し、急速な世代交代と
なりましたが、2期8年
の経験を活かし議員全員
が一丸となって、共に町
のために頑張っていきた
いと思います。

5月には令和元年とな
り、町民の方々も新しい
時代に期待していると思
います。我々議員も心新
たに松崎町の発展のため
に知恵を出し合い、町民
と共に新しい町づくりを
して欲しい、頑張れ、そ
んな期待を感じずにはい
られません。

私にその議会のかじ取
り役を与えられたと思い、
期待に応えられるよう判
断力・決断力・責任感を
持つて頑張ります。

総務常任委員会

委員長	高柳孝博
副委員長	高深澤守
委員	田中道源
委員	鈴木茂孝
委員	小林克己
委員	渡辺文彦
委員	土屋清武
委員	藤井

議会広報編集委員会

委員長	渡辺文彦
副委員長	高柳孝博
委員	田中道源
委員	鈴木茂孝
委員	小林克己
委員	高深澤守
委員	土屋清武
オブザーバー	藤井

議会運営委員会

委員長	高柳孝博
副委員長	高深澤守
委員	鈴木茂孝
委員	渡辺文彦
委員	土屋清武
オブザーバー	藤井

一部事務組合選出議員

西豆衛生プラント組合議会議員

鈴木茂孝	高深澤守
土屋清武	

下田地区消防組合議会議員

小林克己	高柳孝博
一部事務組合下田メディカルセンター議会議員	
田中道源	渡辺文彦

監査委員

土屋清武



鈴木茂孝

1期 昭和45年生まれ
農業（山口区）

移住して21年。新しい視点で新しい風をおこしたい。大きな期待に責任を感じつつ、次の世代につながる「いくつになっても幸せに暮らせる住んで楽しい町」を目指して、みなさまとともに考え、行動してまいります。

松崎で生きる。松崎を活かす。
松崎町の皆様に選んでいただいたことの重みを感じ、誇りを持ち、議員の責務を果たします。是々非々の立場で議会に臨みます。



田中道源

1期 昭和54年生まれ
住職（船田区）

選挙前の議会は、町民の皆様のため一生懸命、町政に努めてまいりました。決して偏った議決はしておりません。
今後とも長嶋町政に対して是々非々の姿勢で議員活動をしてまいります。



深澤 守

2期 昭和42年生まれ
飲食業（北区）



小林克己

1期 昭和42年生まれ
建設業（伏倉区）

町民は、本気で松崎を変えたい、変わりたいと思っている。今回の選挙結果が、それを示しています。これからの4年間、皆様の期待、叱咤激励、助言を重く受けとめ議会活動に、取り組んでいきます。



高柳孝博

2期 昭和21年生まれ
農業（江奈2区）

松崎町は、少子高齢化に伴う人口減少・経済活動の縮小が見られ、このままでは住民サービスの低下が危惧される。住民・行政・議会が共にあって「見通しの明るい町づくり」ができるようにしたい。

今回の選挙には、1期目で得た得票数を目標に臨みましたが、多くの票を失い、改めて努力不足であったと反省しています。
今後、4年間は町民の皆様の負託に応えられるように、一層精進します。



渡辺文彦

2期 昭和28年生まれ
仕出し惣菜業（峰区）

今回の選挙は、行政と議会との信頼関係の歪みを正す町民の判断が下されたと解釈しています。
私は町民の議会への期待を取り戻すべく、8人の羊やライオンの集まりでない、オオカミ集団として期待に応えたい。



藤井 要

3期 昭和26年生まれ
農業（那賀区）



土屋清武

3期 昭和16年生まれ
民宿業（雲見区）

「町民のための議会に」
町執行部も議会も目的は町民の福祉向上である。お互いの役割を十分尊重しあい、行政経験等を生かしつつ、将来の松崎町を見据え、是々非々の体勢で努力してまいります。

私のひとこと

新議員の決意

平成31年3月定例会

平成31年第1回定例会が、3月6日から13日までの6日間で開催されました。

町当局からは条例制定・一部改正が2件、平成31年度当初予算10件、人事案件12件など計34議案が提出され、1議案を修正可決、その他は原案のとおり可決・承認しました。また、最終日には5名の議員から「松崎町長 長嶋精一君に対する不信任決議案」が提出され、賛成6名で可決しました。

平成31年度一般会計予算を修正可決!!

予算総額は、歳入歳出それぞれ37億9000万円とするものであったが、診療所実施設計業務委託料1200万円、花の三聖苑整備改修工事費1億5300万円を削除する修正動議が提出され、全会一致で修正案を可決した。

診療所開設については、総事業費2億円弱が見込まれる事業であるにもかかわらず、場所も決まっていない設計予算を議会としては認められない。また、三聖苑については整備改修において物産直売所新設が計画されているが、町内には既に2か所の直売所があり民間への影響が懸念されることや、天城山房を含めた施設全体の収支見込みに疑問があることから、一度立ち止まり、再度十分な検討をすべきとした。

歳入

町税前年度比 3.9%減
2400万円の減収見込み

ら3業者に増やし、間口を拡大していくことも考えたい。

問 道の駅直売所の開設により、約8900万円

問 ふるさと納税で400万円の収入を見込んでいるが、逆に松崎町民

問 財政力の弱い我が町にとって、ふるさと納税は重要だと思うが、昨年度、保険年金業務が忙しいとのことで、ふるさと納税の担当者を異動させた。人員を元に戻して体制を整えるべきでは。

説明だが、個人住民税1億9180万円のうち、農業所得の占める割合は

答 確定申告の最中でまだ確定していないが、昨年度と同程度約340万円が見込まれる。

答 統括課長 平成31年度については事務の状況等をみて、人事の方で考えていく。

どれくらいか。

問 ふるさと納税の寄附拡大を図るため、新商品の開発などを考えていったらどうか。

答 企画観光課長 現在、返礼品として32業者、140品目を取扱っているが、事業者との話し合いの中で繭最中や栄久ポカンなどの新商品の検討も行っている。

答 窓口税務課長 課税額では算出していないが、

問 固定資産税は土地が約29%下落という説明だが、一般住宅の新築による

答 窓口税務課長 今年度は一般住宅10戸の家屋評価を行っている。新築家屋については3年あるいは5年の軽減措置が適用されるが、100万円ほどの税収を見込んでいる。

総所得62億7600万円のうち課税されている農業所得は2655万円

答 企画観光課長 現在、返礼品として32業者、140品目を取扱っているが、事業者との話し合いの中で繭最中や栄久ポカンなどの新商品の検討も行っている。

問 繭最中を新しい返礼品に

約0.4%となる。

答 企画観光課長 現在、返礼品として32業者、140品目を取扱っているが、事業者との話し合いの中で繭最中や栄久ポカンなどの新商品の検討も行っている。

問 繭最中を新しい返礼品に



繭最中を新しい返礼品に

歳出

「健やか・安心」福祉の
まちづくりにより8億6千万円

問 企画費の移住定住業務委託は毎年120万円ほど支出しているが、今年度の実施状況と何か問題点はないか。また、移住者の実績はどうか。

答 企画観光課長 移住定住を促進するため、民間と共同で事業を実施しているもので、年3回、町内を案内する移住体験ツアーを行っているほか、首都圏へ出向いての移住相談会も行っている。

相談件数は平成29年度が59件に対し、30年度は12月末現在66件と増えており、非常に効果あるものと考えている。

移住者は平成29年度に8名、本年度は12月末までで6名となっている。

問 8名、6名では少ないと思う。移住就業支援補助金も創設し、各方面に渡って移住定住を促進

するには、役場が直営で行った方が効率的で効果が出ると思うが、町長はどう考えるか。

答 企画観光課長 役場が行うことで、移住希望者にとっては自治体の安心感があると思うが、実際に移住した方の体験談が聞けるとか、きめ細かなサービスや機動力は民間の良さでもあり、連携してやっていくことが必要と感じている。

答 町長 ただいまの企画観光課長の言うとおりである。

問 健幸なまちづくり推進事業に570万円ほど計上されている。山形県中山町との連携も含まれているようだが、それによって町民がどのような恩恵を受けるのか。また、委託費の積算根拠は。

答 企画観光課長 この

事業はスポーツ庁の補助を受け、町民を対象に週2回の健幸ウォーキングを行ってきたが、平成31年度からはノルディックウォーキング教室を加え、250名の参加者を目標としている。この事業により健康寿命を延ばし、医療・介護の抑制につなげていきたい。



ウォーキング教室の様子

問 訪問給食サービス事業費が約200万円増額となっているが理由は。

答 健康福祉課長 年々希望者が増え、昨年初度の9700食に対し、今年度は1万2000食を見込んだ。また、消費税増税や食料費の値上げも考慮し、1食600円を700円に引き上げたい。

これにより利用者負担も1食300円から350円への負担増をお願いすべく準備を進めている。

問 火葬場運営費の負担金が計上されているが、火葬場の問題は10年以上場所も決まらず、今は焼却場の問題も出てきた。

これらの問題は西伊豆町と連携していくことがベターで、良いチャンスと思う。それにはトップである町長が西伊豆町長との交流を深くすることで、色々な交渉ができると思うがどうか。

答 統括課長 西豆自治会という西伊豆町との組

織があり、町長、副町長、議長、副議長などが集まる。5月には総会もある。5月には総会の話しをする良い機会だと思う。

問 清掃総務費の中に、清掃施設設置地区地域活性化交付金として450万円計上されているが、どのような目的で使われるのか。

答 生活環境課長 450万円のうち400万円については、クリーンピア松崎の操業延長に伴う雲見地区との約束で、平成26年度から35年度まで毎年、雲見区に支払っているもの。

残りの50万円については、雲見地区の公民館用地の登記料に関わる寄附金分として計上したものを。

特別会計・企業会計予算概要

平成31年度 特別会計予算概要				
会計名	予算総額 千円	対前年度増減 千円	増減率 %	備考
水道事業会計	150,850	△ 4,630	△ 3.0	第3条収入予算分
温泉事業会計	64,478	△ 3,182	△ 4.7	第3条収入予算分
伊豆まつぎ荘事業会計	359,200	△ 5,100	△ 1.4	第3条収入予算分
国民健康保険特別会計	1,020,700	△ 19,211	△ 1.8	
後期高齢者医療特別会計	115,631	△ 5,854	△ 4.8	
介護保険特別会計	926,600	△ 2,200	△ 0.2	
岩地集落排水事業特別会計	7,367	△ 358	△ 4.6	
石部集落排水事業特別会計	5,411	439	8.8	
雲見集落排水事業特別会計	20,238	△ 1,268	△ 5.9	

一般会計を除く平成31年度の特別会計、企業会計の予算概要は次のとおりで、いずれも原案のとおり承認した。
なお、一般会計と合わせた総額は63億2347万5千円で前年度比3238万4千円の減となった。

松崎町長 長嶋精一君に対する不信任決議

一昨年12月に長嶋町長が誕生し、1年3か月が経過した。この間、町長提案の議案が2度否決され、補正予算も2度修正が行われた。また、今議会においても平成31年度一般会計予算が減額修正され、道の駅花の三聖苑整備改修工事費153,000千円と診療所建設工事実施設計業務委託費12,000千円が削除された。

これは、町長が公約達成を優先するため、住民や議会の意見を聞かず、独断的に推し進めてきた結果であり、町長が議会を軽視してきた結果でもある。また、松崎町役場という組織を力で支配すべく、職員に対する恫喝や、自分の意に沿わない職員へのパワーハラスメントなど、複数の職員からは議会に対し悲痛な訴えが届いている。町長と職員が信頼関係のもと、職員が生き生きと仕事ができる職場環境こそが住民福祉の向上につながるものである。

人口減少、少子高齢化が急速に進み、財政力も弱い我が町にとって、国県や近隣の町との連携は不可欠であるが、町長の後先考えない言動、行動によりこれまで積み上げてきた良好な関係が崩れかけていることは、これからの行政運営上、住民にとって非常に不利益となることは間違いない。

議会と町長との溝が深まり、これ以上このような状態が続くことは松崎町にとって好ましくない。長嶋町長は早急に退陣すべきである。

よって、松崎町議会は松崎町長 長嶋精一君を信任しない。

以上、決議する。

平成31年3月13日

静岡県賀茂郡松崎町議会

長嶋町政に“ノー” 町長不信任案を可決

3月定例会最終日、議員5名から「松崎町長 長嶋精一君に対する不信任決議案」が提出され、質疑、町長の弁明、討論を経て採決の結果、賛成6名で可決した。これに対し町長は、議会から出された不信任案は、不信任の理由に当たらないとして3月19日に議会を解散した。

「不信任議決とは」

議会が町長に対し、重大な行政上の問題について、その責任を追及する手段として、あるいは、その行政執行能力からみて町行政を任せることができないとの判断に立って、町長を信任することができない旨を議決すること。（議員の3分の2以上の出席で、4分の3以上の同意で可決）不信任議決を受けた町長は、10日以内に議会を解散しない限りその職を失う。

議会が解散された場合は、選挙により新しい議員が選ばれ、初めて招集された議会において、再度、不信任が議決（3分の2以上の出席で過半数で可決）されると町長はその職を失う。

臨時会・賛否一覧

◎第1回臨時会

(1月17日)

「道の駅花の三聖苑」の指定管理者に関する議案が再度上程された。

内容は12月定例会で否決となったものと全く同じで、振興公社への委託期間が5年間であるにもかかわらず、計画されている直売所開設後の事業計画が示されなかったり、町長の趣旨説明での議会を軽視した発言などから12月定例会同様、否決となった。

◎第2回臨時会

(1月31日)

4月以降の道の駅の機能を継続し、職員の雇用を確保するため、振興公社への委託期間を1年間とする内容で再度上程された。1年間ということでは直売所の運営は含まず、冒頭町長から前回臨時会での発言に対する謝罪もあり、原案のとおり可決した。

第1回・2回臨時会、第1回定例会の賛否状況一覧

議会名	議案番号	議 員 件 名	深澤	伴	渡	藤	福	佐	稲	土	議決状況	
			守	高	辺	井	本	藤	屋			
第1回臨時会	議案第1号	公の施設の指定管理者の指定について(松崎町営道の駅花の三聖苑伊豆松崎)	×	×	×	○	○	×	○	—	否決	
第2回臨時会	議案第2号	公の施設の指定管理者の指定について(松崎町営道の駅花の三聖苑伊豆松崎)	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
第1回定例会	議案第3号	松崎町観光・文化施設旧依田邸の設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第4号	松崎町議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第5号	静岡地方税滞納整理機構規約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第6号	平成30年度松崎町一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第7号	平成30年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第8号	平成30年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第9号	平成30年度松崎町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第10号	平成30年度松崎町水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第11号	平成30年度松崎町温泉事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第12号	平成30年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎさ荘」事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第13号	平成31年度松崎町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	修正可決	
	議案第14号	平成31年度松崎町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第15号	平成31年度松崎町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第16号	平成31年度松崎町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第17号	平成31年度松崎町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第18号	平成31年度松崎町温泉事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第19号	平成31年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎさ荘」事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第20号	平成31年度松崎町岩地集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第21号	平成31年度松崎町石部集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第22号	平成31年度松崎町雲見集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第23号	指定金融機関の指定の変更について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第24号	農業委員会委員に占める認定農業者等の割合について	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
	議案第25号	農業委員会委員の任命について(渡辺文彦氏:峰区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第26号	農業委員会委員の任命について(斉藤一幸氏:道部区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第27号	農業委員会委員の任命について(稲葉正行氏:江奈2区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第28号	農業委員会委員の任命について(小林秀一氏:伏倉区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第29号	農業委員会委員の任命について(山本 栄氏:大沢区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第30号	農業委員会委員の任命について(渡邊和人氏:船田区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第31号	農業委員会委員の任命について(松本文男氏:建久寺区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第32号	農業委員会委員の任命について(稲葉勝彦氏:指川区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第33号	農業委員会委員の任命について(土屋嘉克氏:雲見区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第34号	農業委員会委員の任命について(鈴木公康氏:吉田区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第35号	農業委員会委員の任命について(吉長武志氏:門野区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	議案第36号	農業委員会委員の任命について(鈴木茂孝氏:山口区)	○	○	○	○	○	○	○	—	同意	
	決議案第1号	松崎町長 長嶋精一君に対する不信任決議案について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	原案可決

※賛成:○ 反対:× (町長不信任決議案については土屋議長にも表決権あり)

町政を問う



診療所はどこに（当初計画地の旧岩科幼稚園）



藤井 要 議員

問

診療所の場所見直しは

答

議会等と協議し最終決定

問 松崎には病院が2つしかなく、診療所の確保が喫緊の課題であると町長は言っているが、今後の人口減少と環境の変化を考えると、岩科幼稚園跡地ではなく、建設場所を見直すべきではないか。

答（町長）

建設場所については津波浸水区域でないこと、遊休施設の活用などを総合的に判断し岩科地区での診療所建設が適当と考えている。

人口減少問題は岩科地区に限ったことではなく、他地区で建設する場合は用地選定や取得費用などの問題もあるので、議会全員協議会などで協議し最終決定したい。

問 西伊豆町が昨年、小中学校の義務教育学校を実施することを発表した。両町の新生児数も50人を下回る中で、松崎町も小中一貫教育（義務教育学校）を行い、西伊豆町との連携を強め、県立松

崎高等学校の存続を図る考えはないか。

答（教育長）

西伊豆町は2024年度までに、小中学校を統合し「義務教育学校」に再編すると発表した。

この義務教育学校は系統的で連続性のある教育ができる反面、中高一貫教育との整合性や小中学生の発達段階の差への配慮などの問題もある。当町としては学校施設や運営面からも現状の学校体制を基本とし、教育の充実を図っていく。

問 不登校児への対応は

答 情報共有し組織的に

問 学校でのいじめ問題、不登校児童生徒に対する

対策はどうなっているのか。また、不登校児童生徒に対する学力の維持対策の取り組みは。

答（教育長）

1月末現在、いじめと認知されたのは小中学校

で6名、不登校児も6名である。学校では情報共有を図り、心理の専門家であるスクールカウンセラーなどにも協力を求め、組織的に対応している。

不登校生徒の学力維持対策については、放課後のマンツーマン学習や家庭でのプリント学習、電話相談などを行い、少しでも登校につながるよう働きかけている。

問 松崎の指定避難所は

2か所である。高齢者等の避難移動時の安全、体調面を考慮して、最寄りの公民館等での一時避難ができるような管理体制ができないか。

答（町長）

昨年の台風接近の際、避難準備情報を発表したところ、独自の判断で公民館を避難所として開放した地区があった。

災害の種類、公民館の立地により対応は異なるが、こうした取り組みが広がればと思っている。

問 議会軽視では

答 発言には留意する



深澤 守 議員

問 まつぎき荘不振の原因

答 私が原因ではない

問 1月17日の臨時議会において、可決が見込める道の駅の指定管理の議案について、なぜ趣旨説明で議会を軽視するような発言をしたのか。

答 (町長)

1月17日の発言は熱が入り過ぎたと反省している。1月31日の臨時会で不穏当な発言があったことをお詫びさせていたのだが、今後も誤解にならないような発言がないよう留意する。

問 まつぎき荘不振の原因

答 私が原因ではない

問 まつぎき荘の宿泊者数が1月末現在、昨年より1800人減少している。長嶋町長になって以降、急激な減少傾向にある原因はどこにあるのか。

答 (町長)

宿泊者減少の原因は、相次いだ台風によるキャンセルなど複合的な要因が重なった結果であり、急激な減少が私に起因するものとは思っていない。

問 町長に原因はないというが、食事の面、料金の値上げ、職員の対応の悪さなどが影響していると思うが、どう考えるか。

答 (町長)

一般論として、トップが変わって1年余で売り上げが大きく増減するケースはあり得ず、それは過去の積み重ねである。私のやった施政が悪くて売上げが減少していることには全くあたらない。

問 12月議会の答弁で、

私が管理者になったことが原因で町の施設が赤字になった場合、責任を問われると答弁しているが、今期のまつぎき荘の赤字は確実に町長の運営方針に問題があると思う。自身の身の処し方をどう考えるか。

答 (町長)

まつぎき荘は7年連続で大幅な赤字を出した。その歴代の町長はどういう責任を取ったのか。私はそれを逆に問いたい。

問 副町長不在の影響は

答 解決策として統括課長

問 町長就任以来1年3か月を経過したが、未だに副町長が選任されない。なぜ選任しないのか、町政への影響はないのか。

答 (町長)

私の右腕となる副町長を選任したい気持ちはあり、相応しい方を探しているが、決定には至っていない。副町長不在の間の解決策として統括課長を新設したが、副町長イコール統括課長ではないので、全く支障がなかったとは言えない。



副町長はいつ選任されるのか

問 今後の公共施設の管理費は

答 約74億の財源不足



渡辺 文彦 議員



移住拡大のためソフト面の整備を（とーふや）

問 平成29年3月「公共施設等総合計画」が策定され、今後40年間の人口や財政状況等に対応する施設の管理計画が示されているが、どのようなものか。また経費はどのように見積もったのか。

答（町長） 町が保有する施設等の現況、課題を整理し、安全性、機能性の維持、長寿命化を図るための基本的な方針を定めたもの。今後40年間における修繕、更新に約74億円の財源不足が見込まれる。

答（総務課長） 計画は施設ごとの修繕費、更新費を国の基準に基づき試算したもので、利用状況等を把握して無駄なものは減らすとの考え方に基づくものである。

問 三聖苑の直売所建設及び診療所の建設が予定されているが、今後の公共施設の管理運営計画を展望する時、建設の規模、必要性はどのように考慮

されているか。

答（町長）

直売所や診療所の整備を計画しているが、これらの施設は旧施設の更新であり、町の賑わい、医療の充実に必要な施設である。必要に応じ、個別に維持管理に関する計画をたて、適正に管理する。

答（企画観光課長）

直売所の規模は、いろいろな施設を視察した結果、約70坪で計画をたてた。施設のランニングコストも見据え運営していきたい。

問 旧依田邸の管理者は

答 一元的な管理運営者

問 旧依田邸の指定管理者委託申請を8月ごろ予定しているが、施設の活用方法が文化施設と温泉施設で利用目的が異なる。適任とする管理者は。

答（企画観光課長）

旧依田邸の活用については、温泉施設と文化施設と利用目的は異なるが、両方を管理できる指定管理者に任せたい。

問 施設の効果的活用には

答 ソフト事業の連携で

問 「とーふや。」を活用

していくにはハード面の整備も必要だが、それ以上に移住を促すソフト面の整備が大切なのではないかと思うが、いかがなものか。

答（企画観光課長）

「とーふや。」は新規創業の促進及び交流人口の拡大で地域の活性化を図る目的で整備した。現在、IT関連の事業を1名の方がオフィスとして活用している。この方は移住相談がきっかけで定住に結びついたため、いろいろな移住定住対策等のソフト面での対応も必要と考えている。

問

津波対策の進捗状況は

答

推進計画を策定中



福本 栄一郎 議員

問 昨年9月に一般質問で質した松崎海岸の津波対策の推進状況は。

答 (町長)

防潮堤・水門の整備のハード対策と避難路・避難ビルの整備や避難計画を含めた津波防災地域づくり推進計画の策定を進めている。今後、協議会の立ち上げや住民参加による合意形成などの対策を検討していく。

問 地区協議会ができて2年経つが、地震はいつ

問 順天堂行きバスは

答 新たな運行方法で

問 順天堂静岡病院行きのバスについて12月の一般質問で「単独ではできない」と回答しているが、新年度の取り組みは。

答 (町長)

実証実験での利用率は低調であったが、利用者の通院頻度、交通手段が検証できたことは良かった。実験終了後、南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会で、4月以降の新たな運行方法の協議を行っているので、決定次第、町民に周知する。

問 なぜ1市5町が負担金を出している下田メディアカルセンターを考えないのか。

答 (統括課長)

両方に行くのが理想だが、下田は距離が短く、まずは遠い方の順天堂病院が頭の中にあつて選挙公約に入れたと思う。

問 コンシェルジュの再開は

答 職員の対応を見て

問 コンシェルジュの来庁者対応実績及び効果の検証は。

答 (町長)

来庁者への挨拶の徹底、きめ細やかなサービス、職員教育のため8月から始め、772人の対応をした。挨拶や案内も徹底してきたので1月末で一時中止したが、評判はまずまずと聞いている。

問 職員は良く対応している。町長は絶えず費用対効果と言うが、一人当たり給与ベースで360万円かかるコンシェルジュは再開せず、打ち切りにすべきである。

屋上屋を架し無意味で無駄と思うが。

答 (町長)

褒めていたいただいて感謝するが、「挨拶ができなくなったらやる」と言っておくのが町長の役目だと思っている。



津波対策を早急に (松崎港)

問 なぜ、3度の議案上程か

答 町民の幸福のため何度でも



稲葉 昭宏 議員



事務室には「私語厳禁」の貼り紙が（総務課）

問 三聖苑指定管理者の指定に関する議案が3回の上程となったが、議決に対する町長の考えは。

答（町長）

自分の信念に基づき上程した議案が否決されることは、非常に悔しい思いである。そのまま諦めるのではなく、結果が町民の幸福につながるという確信があれば何度でも上程したい。

問 提案権は町長にしかないわけであり、いくらか何回でもできるからといって、議会が承認するまで上程するなんてことは議決軽視では。

答（町長）

何度でも上程したい気持ちはあるが、納得していただけるよう努力するとともに、方向転換するという柔軟な姿勢をこれからは大いに出していきたいと思っている。

問 三聖苑の指定管理の2度目の否決の時、職員

の給料も払えないし、休職になるなどと議会の責任にしているが、職員の処遇については、公社理事長としての町長にあるのでは。

答（町長）

議員の言っている面もあるが、あくまで振興公社に委託することを承諾してもらい、道の駅の職員を雇用したいということでの説明となった。

問 職員との関係は良好か

答 町づくりの結果で判断

問 町長と職員は一体となって行政運営すべきであるが、職員との関係は。

答（町長）

町長就任の際、責任回避などせず公僕として奉仕することを命じたが、それを理解していない職員は厳しいと感じている。職員を指揮監督するの

も町長の務めで、この姿勢は貫くが、職員との関係が良好かどうかは「町

民満足度の高い町」になっただけで判断される。

問 総務課へ行ったら、壁に「私語厳禁」という張り紙が貼ってあり、びっくりした。今どきどういうことか。

答（町長）

総務課というのは企業という社長室の横で、和気あいあいと仕事をしてもらっては困る。ぴりっとした組織でなければまずいと思っている。

問 人を動かすということとは、情も大切だ。少々の職員の私語が町長の耳に入ったからといってむしろ、町の品位を下げる事になるのでは、すぐにはがした方がいい。

答（町長）

誠に残念だが、なかなか自分が思ったとおりにいっていない。かなり情を交わしている例はあるが、貴重なご意見として承っております。

問 中山間地での受信障害は

答 外部アンテナで対応可能



伴 高志 議員

問 同報無線デジタル化事業が30年度より着工し、本年度は戸別受信機のアナログからの更新を予定しているが、中山間地の特に災害時のデジタル電波の支障やその他の想定はどうか。

答 (町長)

中山間地におけるデジタル電波の支障については、外部アンテナ等で対応することで受信できるようになる。加えてスマートフォンでも受信できるようになり、より安心安

まとめた。これを受けて町の対応はどうか。

答 (町長)

町では中央防災会議の報告書を受け、南海トラフ地震に関連する臨時情報について区長会で説明を行った。防潮堤の整備を以前にとるべき対策として、自主防災会や小学校などと津波避難訓練の実施や案内看板の整備、避難ビルへの補助などを行っている。

また、新年度には津波防災地域づくり推進計画を策定し、住民の避難意識の向上を、行政も一体となって進めていく。

問 広域化、町長の考えは

答 11月までに判断

問 2月の全員協議会で、

広域ごみ処理事業は新たな整備場所を下田市の現焼却施設敷地で検討すると報告があった。

予定地が下田市になると輸送コストも高く、町

民がごみの持ち込みもできなくなる。市町によって分別方法が異なったり、最終処分場の問題など課題は多いが町長の考えはどうか。

答 (町長)

今後の広域ごみ処理事業については下田市が事務局となり、ごみ処理基本構想再策定支援業務を委託し、各町は平成31年度の補正予算で負担金を予算要求していく。

整備場所について下田市の現焼却施設の敷地内に整備した場合の概算事業費や事務手法、事業手法の検討を行い、本年9月から11月の間に広域ごみ処理への参加、不参加の意志を表明することになる。

なお、ごみの持ち込みや分別方法などは決まっておらず、今後協議していく。



津波避難訓練の様子 (松崎小学校屋上)

次の定例会は、6月5日(水)からの予定です。

議会のうごき

1月

10・17日	広報編集委員会
17日	第1回臨時会
24日	議会だより122号発行
30日	静岡県地方議会議長連絡協議会 政策研修会(静岡市)
31日	第2回臨時会

2月

7日	賀茂郡町議会議員研修会(河津町)
8日	賀茂郡町議会議長会議(南伊豆町)
13日	静岡県町村議会議長会定期総会 (御殿場市)
18日	議会全員協議会
21日	下田メディカルセンター議会定例会 下田地区消防組合議会定例会
27日	議会運営委員会・広報編集委員会

3月

1日	議員会勉強会
6日~13日	第1回定例会
18日	西豆衛生プラント組合議会定例会
19日	議会解散

表紙の写真「長九郎のシャクナゲ」は文化協会写真部より提供。

発行責任者

議長 藤井 要

編集委員長

渡辺 文彦

編集委員

田中道源 鈴木茂孝 小林克己 深澤守 高柳孝博 土屋清武

この人に 聞きました⑳

移住4年目

T・Yさん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、松崎町に移住して4年目の方に移住するにあたり重要な、「家」と「子供」の関係でお話を伺いました。

◎「家」について

実際、現地を見に来るのは移住を決意した人。事前の検討・下調べはインターネットを活用する。人を呼び込むならば、インターネットを充実させ最初の敷居を低くすべきと考える。空き屋情報等が一括で見れるサイトがあれば、移住検討段階の人をもっと呼び込めると思う。遠い地での仕事探しや

家探しは大変。1か月位のお試し感覚で住める家があれば仕事や家探しが楽になる。松崎での暮らしがわかって良い。

◎「子供」について

少子化もあつて近所にも近い子供がいない。同世代との交流は保育園(幼稚園)のみになってしまふ。また、移住したてだと親同士の交流も少ない。交流できる場所(特

に雨天や休日)があると便利だと思う。乳幼児期は言葉を覚える大切な時期。いろいろな人と会ってたくさん言葉を覚えて欲しい。日中に母以外にコミュニケーションをとる相手がいなような状況では、子供の言語発達に遅れがでないか心配になってしまふ。(聞き手 編集委員長)

海鳴り

議会だよりは4月中旬に発行される予定でしたが、解散選挙となり発行が遅れてしまいました。今回の選挙で新議員3名、元職1名の当選により、40代から70代までの幅広い年代での議会構成となりました。このことにより皆さんの関心事にあつた一般質問がされ、幅広い層の方が「議会だより」に興味を持つていただけるのではないかと期待しています。また40・50歳前半の議員が半数を占めていますので、議会が若返り活性化が期待できると感じています。これからは多くの方が議場に足をお運びいただき、議員の活動を見ていただきたいと思いますようお願いいたします。行政とともに、新しい時代、松崎を作るために議員一丸となつて町のために努力してまいりますのでご期待ください。

(議長)